

## 第4学年 国語「案内係になろう」

「ようこそ、西新井水族館へ！案内係はわたしです。」

### 1 単元について

#### ■目標

○相手の質問の目的を考え、必要な事柄を選んで、丁寧に話すことができる。

#### ■プログラミング教育の視点

○案内係用の資料を使って、お客さんの問い合わせに答える手順が分かることで、自主的な活動になり、より一層理解が深まると考えた。

### 2 指導計画

時間	主な学習活動	プログラミング教育の視点に立った留意点
1	●相手が知りたいことを考えて案内するには、どんなことを話したらよいか、考える、学習の見通しを立てる。	○分かりやすい案内には、話す内容に一定の順番があることに気付く。 ○場所を案内するために必要な言葉を集めて、使える。
2	●わかりやすい案内文を元にフローチャートを作る。	○児童と共にフローチャートを作る。
3	●案内係になって、相手が知りたいことを考えながら分かりやすく話すことができる。(入門編)	○フローチャートを元に、案内文を作る。
4 (本時)	●案内係になって、相手が知りたいことを考えながら五中の先生に分かりやすく話すことができる。(チャレンジ編)	

### 3 本時について

#### ■目標

○西新井水族館を案内することを意識し、いろいろな立場の方の質問の目的に応じて、筋道を立て、内容を明確にして話すことができる。

#### ■プログラミング教育の視点

○フローチャートを元に、案内文を作ることができる。

### 4 本時の流れ

	●主な学習活動	○支援・留意点 ☆教科等の評価(評価方法) ★プログラミング教育の視点に関わる評価(評価方法)
導入	●フラッシュカードで場所を案内するために必要な言葉を復習する。 ・「お客さんから見て」「まっすぐ」「つき当たり」はこういうときに使うんだね。	○タブレットを用いて、言葉の復習をする。 ・全員が参加できているかを確認するため、個別指名をする。

展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●問題に出会う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・このあいだより難しい問題だ。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に問題文を配っておく。</li> <li>○前時の問題文とは違い、今回は時刻の表示があることに気付かせる。</li> </ul>
	<b>お客さんが知りたいことを考えて、必要なことからをえらび、ていねいに案内しよう。</b>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人で案内文を書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イルカのショーは午後2回あるし、注意事項があるよ。</li> <li>・売店で食べ物や飲み物を買う事ができ、休憩所に持ち込むことができるよ。</li> <li>・3時以降で見られるえさやりは、ラッコと大水槽。開始時刻、場所、行き方を教えないとね。</li> </ul> </li> <li>●同じ問題文の人同士で構成されたグループで案内文を読み合い、相手が知りたいことが書かれていなければ、加除修正する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・この場面では、このことを付け加えた方がいいね。</li> <li>・ここでは、このことは特に入れなくてもいい。</li> </ul> </li> <li>●第五中の先生に各グループに入ってもらい、実際に案内をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて会う人で、緊張するなあ。</li> <li>・相手の目を見て話すようにしたいなあ。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フローチャートを元に、案内文の書き方を指導する。</li> <li>★相手の知りたいことを踏まえ、フローチャートを元に案内文を書いている。(ワークシート)</li> <li>・それぞれの案内文を聞いて、よりよい案内文を協力して決めるように指示する。</li> <li>・加除修正の方法について指示する。</li> <li>・加除修正が早く終わったグループは、読む練習をする。</li> <li>☆相手が知りたいことを考えて、案内する事柄を整理し、分かりやすく話している。(ワークシート)</li> <li>○五中の先生には、班長から評価シートを配るようにする。</li> <li>○九つのグループを想定しているのも、真ん中にいる列の人は、廊下に出よう指示する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第五中の先生から案内の感想を聞く。</li> <li>●学習の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五中の先生には、良かった点や課題を指摘してもらおう。</li> <li>☆いろいろな立場の方の質問の目的に応じて、筋道を立て、内容を明確にして話すことができた。(ワークシート 発表)</li> </ul>

## 5 授業の様子



案内の手順を考え、ワークシートに書き込む。



手順書に沿って、案内を試みる。

## 6 成果と課題

### ■児童の変容等

- ・フローチャートを元に案内文メモを作る手順を、調べ学習のまとめに共通して利用するようになった結果、児童も手順に慣れているため、学習のまとめを容易に作成することができた。
- ・人の話を正しく聞き取る場合、「いつ」「どこ」「何」などの言葉に気をつけて、メモをとるようになった。